

§ アクセラレータープログラムについて

Q) 期間中のサポート内容を教えてください。

A) 集英社のノウハウ/データ/アセットを利用して、可能な限りあなたのビジネスをサポートします。また、ハンズオンメンタリング/ポイントメンタリング、ブラッシュアップセミナー（3日間のプログラミング講座、資本政策、プレゼンテーション指導等）を希望制で受けられ、プログラム参加中は、作業・会議スペース（要予約・千代田区、大阪梅田、京都烏丸御池等を予定）も利用出来ます。また、出資や協業の検討もいたします。

Q) 参加の条件はありますか？

A) マンガテック選考会の最終選考を通過することが条件です。

Q) 参加のメリットは何ですか？

A) 集英社からの直接的なサポートを受けられることに加え、関係企業の紹介など、集英社があなたのビジネスの成長を可能な限りサポートします。結果として、あなたの事業のブランディングにもつながる可能性があります。

Q) 開催場所はどこですか？

A) 集英社、運営会社ツクリエのオフィス、メンターのオフィス等の都内各所、オンラインで開催予定です。また、ブラッシュアップセミナー等は別途会場を設ける場合があります。

Q) 参加の費用はかかりますか？

A) いいえ、プログラムの参加自体は無料です。交通宿泊費等の実費は自己負担となりますが、受賞特典を充当いただくことは可能です。

Q) 知的財産権の扱いはどうなりますか？

A) 別途合意がなされた場合を除いて、マンガテックへの応募およびアクセラレータープログラムへの参加により、応募者の知的財産権について、集英社および運営会社は何らかの権利を取得することはありません。なお、選考会の最終選考を通過された応募者につきましては、アクセラレータープログラムへの参加に際し、秘密保持契約を締結いただきます。

Q) 途中離脱は可能ですか？

A) 最終選考を通過しプログラム参加者に選出された場合は、やむをえない事情がある場合を除き、最後まで継続いただきます。惜しくも選に漏れた応募者のためにも、できる限り最後までご参加ください。

Q) マンガテック選考会で受賞したプラン以外でのプログラム参加は可能ですか？

A)受賞した内容でのプログラム参加をお願いします。なお、プログラム中、メンター等の指導により、事業をよりよくブラッシュアップしたり、ピボットしていただくことをお勧めする場合がございます。

Q)メンターを指名することはできますか？

A)指名は出来ませんが、ご希望は考慮させていただきます。なお、ハンズオンメンターは担当制です。

Q)メンタリングは必ず受けなければいけませんか？

A)はい、最低月1回~2回程度はメンタリングにご参加いただきます。なお、状況により、簡単な進捗の報告をもって、参加に代えていただくことが可能な場合もあります。

Q)リストにないメンターに担当いただくことは可能ですか？

A)原則、メンターとして担当いただくことはできませんが、プログラムの一環として、ご紹介させていただくことができる場合がございます。なお、メンターが、自発的にご希望先をご紹介することについては、事務局として妨げるものではありません。

Q)プログラム終了後もサポートを受けることはできますか？

A)基本的にはサポートは終了しますが、個別に発生するやりとりについては継続を妨げません。また、出資や協業が決まった場合は継続的な関係性は続きますし、プログラムとしても、そのような状況を意図しております。

Q)他のアクセラレーターと同時に参加することは可能ですか？

A)事前承認のうえ可能ですが、スケジュール的に難しいと判断させていただいた場合は、ご辞退を頂く場合があります。エントリーに際し、お申し出をお願いいたします。なお、選考後に判明した場合、失格とさせていただきますことがあります。

Q)ブラッシュアップセミナーへの参加は、必ずしないとイケませんか？

A)いいえ。ブラッシュアップセミナーは、原則、希望参加制です。例えば、起業家向けプログラミング講座 G's CAMP は、社内にエンジニアがいらっしゃる場合は参加不要かもしれませんし、CFO がいらっしゃる場合、資本政策セミナーも不要かもしれません。任意で必要なものを選んでご参加下さい。ただし、プレゼンテーション指導は、少なくとも一度、ご参加いただく事をお奨めします。

Q)プログラムに、アライアンスパートナー候補や株主候補を連れてくることは可能ですか？

A)可能ですが、エントリーに際し、候補の記載をお願いいたします。コンフリクトの可能性があるため、途中からのお申し出には応じかねる場合があります。ご注意ください。なお、アライアンス等は、プログラムの一環として、集英社と協議の上、進めていただきます。

§ 選考・コンテストについて

Q)選考方法を教えてください。

A)書類選考の後、面談（面会またはオンライン）を受けていただき、最終審査としてマンガテック選考会で5分間のプレゼンテーションを行っていただきます。なお、プレゼンテーションの上手い下手は判定材料といたしません。ビジネスプランの魅力が的確に伝わるようにプレゼンテーション内容の整理をお願いいたします。

Q)選考基準は何ですか？

A)集英社やマンガ業界の今後という観点から、ビジネスプランの魅力と実現可能性、企画チームの将来性など、総合的に判断させていただきます。

Q)複数案の応募はできますか？

A)はい、可能です。なお、複数応募の中の1案が受賞した場合、受賞後に別の案に変更することはできません。予めご了承ください。

Q)複数案応募した場合は選考で不利になりますか？

A)いいえ、不利にはなりません。なお、1グループ5件までエントリーいただけますが、受賞は1件のみとなります。

Q)1グループあたり何名まで参加可能ですか？

A)人数制限はありません。なお、メンタリングにお越しいただく人数やオフィス利用人数は、会場の都合上、上限を設けさせていただく場合があります。

Q)起業を具体的に決めていなくても応募可能ですか？

A)可能です。ただし、本プログラムは、マンガの新規ビジネスを興そうとする方の支援を目的としています。ビジネスプランの実現に際しては、出資や協業のため、法人を設立していただく必要があります。エントリー時、具体的に決めている必要はありませんが、自らが主体的に関わる形での事業化を志していることは必要です。

Q)未成年でも応募可能ですか？

A)若い方々の挑戦を歓迎します。エントリーに際し、保護者の同意を得てください。

Q)説明会の参加は必須ですか？

A)必須ではありません。

Q)海外からの応募は可能ですか？

A)可能です。年齢や性別、国籍等の制限はございません。ただし、初回対面時等、最低数回は東京を訪問いただく必要があります。なお、ビジネスプランの実現に際しては、出資や協業のため、日本法人を設立していただく必要があります。

Q)日本語以外の言語での参加は可能ですか？

A)いいえ、日本語以外でのご参加は不可とさせていただきます。

Q)個人での応募も可能ですか？

A)はい、可能です。マンガ業界をアップデートするアイデアと熱意を有する、あなたのエントリーをお待ちしています。

Q)「キャラクターグッズ」や「マンガ配信サービス」のようなアイデアも募集テーマの対象ですか？

A)はい、対象に含まれます。マンガ業界をアップデートできるような革新的なアイデアを盛り込んでください。なお、特定の作品のみを前提としたアイデアは、募集テーマに該当しません（NG例：「ONE PIECEの豪華客船旅行」など）。

Q)賞金を返還しなければいけないケースはありますか？

A)ございます。反社会团体への関わりや、第三者の知的財産権の侵害があった場合、ビジネスプランに虚偽や剽窃があった場合等には失格として、返還いただきます。詳しくは応募要項の禁止事項をご確認ください。

Q)マンガテック選考会の受賞特典はいつ受け取れますか？

A)受賞確定後、速やかにご提供いたします。なお、賞金は現金でなく、金額相当の機材やサービス等、ビジネスプランの実現を目的とした実費等について、事務局が第三者弁済を行う形となります。予めご理解の程、よろしく願いいたします。

Q)事業化支援金で購入できるものはどんなものですか？

A)選考対象とされたビジネスプランの実現に向けた事業化に関する全ての機材、サービスが対象です（例：PC、スマホ、クラウドサービスの利用料金、登記費用、税理士・司法書士等の専門家報酬や文書作成費用等）。

なお、事前に事務局へ申請いただき、領収書原本の提出が精算に必要となります。

Q)応募時点で集英社のキャラクター使用前提のアイデアは対象ですか？

A)対象に含まれますが、単数または複数に関わらず、特定の作品のみを前提としたアイデアは募集テーマに該当いたしません。特定の作品に依拠しない応用性のあるビジネスプランをお待ちしております。

Q)すでに複数の株主から出資を受けている場合もプログラムに参加可能ですか？

A)はい、可能です。ただし、プログラムの性質上、応募者がビジネスプランのオーナーシップをお持ちであることが求められます。このため、法人である応募者につきましては、二次選考の時点で出資比率等を確認させていただきます。また、本プログラムに定める条件との抵触がないか、既存株主の方々から株主間契約の条件その他、必要な限度で事実関係の確認をお願いする場合がございます。

§ 出資・協業について

Q)集英社との協業や出資は必ず受けられますか？

A)受賞時点で出資の確約を行うものではありませんが、積極的に検討いたします。プログラムを通じてビジネスプランの進捗や方向性について協議させていただき、あなたのビジネスプランにとって最適な提案をいたします。なお、出資検討にあたり、財務諸表などのご提出をお願いする場合がございます。

Q)プログラム期間中に協業や出資に発展することはありますか？

A)はい、可能性はありますし、運営チームとしてもそうなることを望んでおります。

§ その他

Q)「ジャンプ・デジタルラボ」との違いは何ですか？

A)「ジャンプ・デジタルラボ」が、「少年ジャンプに関するデジタル事業」の新企画を募集するのに対し、本プログラムは、デジタル事業に限定することなく、自由な発想で、マンガ・コンテンツ業界を変革するような新規アイデア、ビジネスを募集しています。

農業、ハードウェア、美容、地方創生、課題解決、ニューノーマル…など、これまで思いつかなかった分野・アイデア・テクノロジーとマンガを組み合わせ、業界をアップデートしてくれる皆さまのご応募をお待ちしています。

また、選考を通過された皆様には、メンターによる伴走型アドバイスや集英社のノウハウ、チャンネルなどを通じ、アイデアを実現につなげられるよう、様々な起業・経営支援を行います。

す。

Q)運営事務局のツクリエってどんな会社ですか？

A)シード期のスタートアップを支援する起業支援事業会社です。ホームページは[こちら](#)となります

Q)リモート通信の環境は必要ですか？

A)はい、必要です。リモート環境でのメンタリングを行う可能性もございますので、パソコンによる通信環境のご準備をお願いします。